

SkyVisualEditorオンラインセミナー

～第4回 活用編～

いまずぐ「使える」SkyVisualEditorの 便利な機能のご紹介

2014年8月21日（木）

株式会社 **テラスカイ**

TerraSky

毎月、テーマに沿って開催しています。

オンラインセミナーの資料・動画は、下記URLよりご覧いただけます。

(<http://www.terrasky.co.jp/document/skyvisualeditor/>)



1. PDF画面を作成しよう

2. 遷移元の値を遷移先の画面へ反映しよう

3. その他の便利な機能のご紹介

※ SkyVisualEditorの製品概要については以下をご覧ください。

(<http://info.skyvisualeditor.com/>)

※ 本セミナーの詳細な内容は以下操作マニュアルをご覧ください。

(https://www.skyvisualeditor.com/help/skyvisualeditor_help.pdf)

※ 当資料のロゴや設定画面はSalesforceのバージョンアップによって変更する可能性があります。

1. PDF画面を作成しよう

2. 遷移元の値を遷移先の画面を反映しよう

3. その他の便利な機能のご紹介

SkyVisualEditorで作成する画面構成

SkyVisualEditorは、データを入力/編集するための「入力画面」、データを参照するための「参照画面」、そしてPDF用の「PDF画面」とそれぞれの用途に合わせて、画面を作成する必要があります。今回はこのうち、「PDF画面」の作成方法をご紹介します。

▼ 入力画面

申請

申請書番号: [] 申請書内容: []

項目	内容
申請書番号	20140001
申請書内容	申請書内容

項目	内容
申請書番号	20140001
申請書内容	申請書内容

▼ 参照画面

申請

申請書番号: [] 申請書内容: []

項目	内容
申請書番号	20140001
申請書内容	申請書内容

▼ PDF画面

申請

申請書番号: [] 申請書内容: []

項目	内容
申請書番号	20140001
申請書内容	申請書内容

以下は、SkyVisualEditorでPDF画面を作成する際の流れです。
本日は、以下手順にそって、PDF画面の作成方法をご紹介します。

1. レイアウトの選択



2. プロパティ設定



3. 画面の作成



4. 作成した画面のデプロイ



5. デプロイ後のSalesforceの設定

1. レイアウトの選択

PDF画面は、「Salesforceレイアウト」もしくは、「自由レイアウト」より作成できます。
各レイアウトの特徴は以下の通りです。
ご利用シーンやご要件に合わせて使い分けください。

	Salesforceレイアウト	自由レイアウト
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易な帳票レイアウトに最適 ・表形式のレイアウトに有効 ・自由レイアウトよりも作成時は時間が必要だが、修正は容易 ・文字数に合わせて罫線の高さを動的に伸ばすことが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存帳票を利用したいときに最適 ・既存のレイアウトを利用できるため、短納期での開発が可能 ・文字が多い場合、枠線をはみ出すため、文字数などの制御が必要

※ SkyVisualEditorは、PDFを生成する専用サービスではないため、レイアウトによっては実現が難しいものもございます。画面イメージをいただければ、実現可否や実現方法をご案内させていただきます。ご遠慮なくお問合せください。

2. プロパティ設定（ページ名の設定）

PDF画面の作成は、既存の参照画面を利用する方法と、初めからレイアウトしていく方法がございます。今回は前回のオンラインセミナーで作成した参照画面を利用し、PDF画面を作成します。まず、右の[ページプロパティ]内の[Visualforceページ名]をPDF画面用の名前に変更します。
※ 参照画面から作成する場合、ページ名を変更しないと上書きされるためご注意ください。

例えば、
「workflow_pdf」と
ページの名前を指定

※ 前回のオンラインセミナーの内容は以下をご覧ください。

(<http://www.terraisky.co.jp/document/download/skyvisualeditor-3.php>)

2. プロパティ設定（ページサイズの設定）

現在表示している画面をPDFに設定します。
設定手順は以下のとおりです。

1. 右側の[ページ]タブ内の[PDF]より、[PDF化]のチェックボックスをON
2. [ページサイズ]を、「A4、B4、A3、レター、リーガル」より選択
3. [用紙の向き]を、「縦、横」より選択
4. [余白設定]を、「設定なし、0.0cm、0.5cm、1.0cm」より選択
5. [ページサイズを目安のサイズに合わせる]ボタンをクリック
6. 自由レイアウトの場合、[背景画像]内の[画像をページサイズに合わせる]ボタンをクリック。
7. [背景画像]内の[縦横比を維持する]のチェックボックスをON

以上でページサイズの設定は完了です。

The screenshot shows the 'PDF' and '背景画像' (Background Image) sections of the software interface. Red dashed boxes and numbered circles (1-7) highlight the following elements:

- ①: The 'PDF化' (PDF) checkbox, which is checked.
- ②: The 'ページサイズ' (Page Size) dropdown menu, currently set to 'A4 (210 mm × 297 mm)'.
- ③: The '用紙の向き' (Paper Orientation) section, with '縦' (Portrait) selected.
- ④: The '余白設定' (Margin Setting) dropdown menu, currently set to '0.5cm'.
- ⑤: The 'ページサイズを目安のサイズに合わせる' (Fit page size to reference size) button.
- ⑥: The '画像をページサイズに合わせる' (Fit image to page size) button in the '背景画像' section.
- ⑦: The '縦横比を維持する' (Maintain aspect ratio) checkbox, which is checked.

Other visible elements in the '背景画像' section include: 'equipment_applicator', '参照' (Reference), 'クリア' (Clear), '画像サイズ(px)' (Image size in pixels), '幅: 756 高さ: 846' (Width: 756, Height: 846), and '位置座標' (Position coordinates) with 'X: 0 Y: 0'.

3. 画面の作成

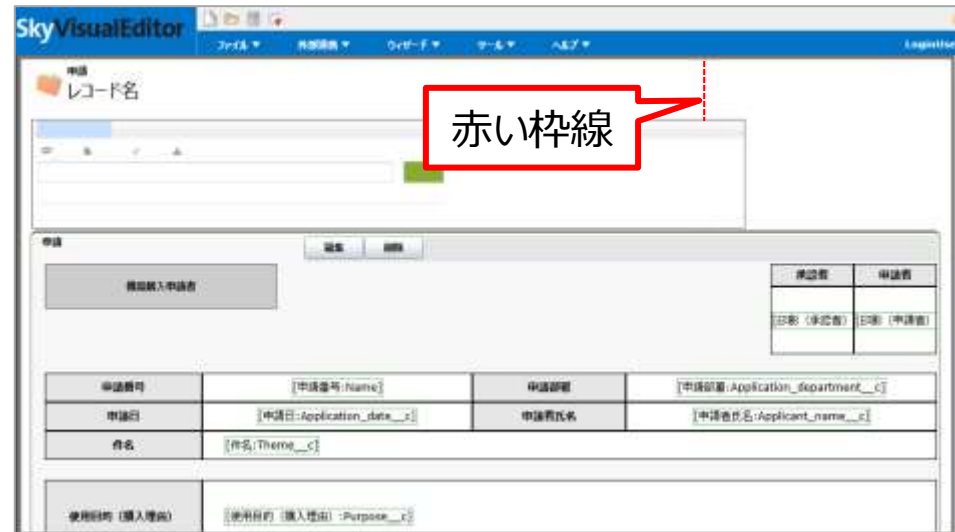
既存の参照画面よりPDF画面を作成する場合は、参照画面とPDF用の画面のサイズが異なる場合、配置している項目がずれるため、再度ドラッグ & ドロップによりデザインする必要があります。

自由レイアウトの場合は下記のとおり、ずれてしまった項目を再度配置し直すことで画面の作成は完了です。Salesforceレイアウトの場合は、指定したページサイズが赤色の枠線で囲われますので、その中に納まるようにレイアウトを修正いただくことで画面の作成は完了です。

レイアウトを修正する際に、ボタンなどの不要なコンポーネントは削除します。



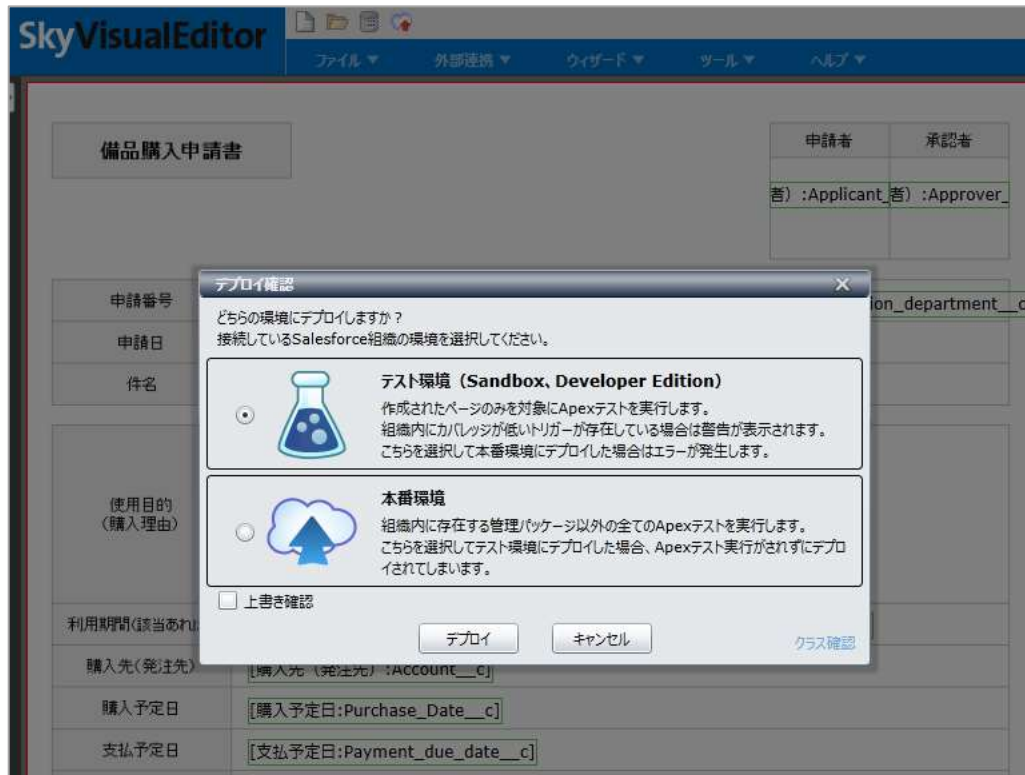
▲ 自由レイアウト



▲ Salesforceレイアウト

4. 作成した画面のデプロイ

メニューエリアの[ファイル]より、[デプロイ]をクリックします。
Sandbox環境やDeveloper Editionに画面を生成する場合は[テスト環境]を、
本番環境へ直接デプロイする場合は、[本番環境]を選択し、[デプロイ]をクリックします。



5. デプロイ後のSalesforceの設定 (Salesforce標準ページレイアウトからPDF表示)

Salesforceの標準ページより、作成したPDF画面を表示するには、PDF画面を開くカスタムボタンを配置いただくことで設定できます。

1. Salesforceの設定画面より、画面を作成しているオブジェクトの[ボタン、リンク、およびアクション]より[新規ボタンまたはリンク]を選択
2. 以下の画面が表示されるので、必須事項を記入のうえ、[内容のソース]を「Visualforceページ」とし、作成したPDF画面を選択
3. カスタムボタンをSalesforceの標準ページレイアウトに配置

以上で設定は完了です。



ホーム Chatter リード 取引先 取引先責任者 商談 商談検索 申請 レポート ダッシュボード +

すべての設定を検索

申請のカスタムボタンまたはカスタムリンク
新規ボタンまたは新規リンク

このページのヘルプ

カスタムボタンまたはカスタムリンクの編集

保存 適用 プレビュー キャンセル

表示ラベル PDF表示

名前 PDF

説明

表示の種類

- 詳細ページリンク サンプルを表示
- 詳細ページボタン サンプルを表示
- リストボタン サンプルを表示

動作 新規レコードに表示 動作オプションの表示

内容のソース Visualforce ページ

コンテンツ

- workflow_equipment [workflow_equipment]
- workflow_equipment [workflow_equipment]
- workflow_equipment_sfdc [workflow_equipment_sfdc]
- workflow_equipment_view [workflow_equipment_view]
- workflow_equipment_view_sfdc [workflow_equipment_view_sfdc]

クリックアクション

- 印刷
- サンプルボタン & リンク
- サンプル & 編集

5. デプロイ後のSalesforceの設定 (SkyVisualEditorで作成した参照画面からPDF表示)

SkyVisualEditorで作成した参照画面より、作成したPDF画面を表示する際は、SkyVisualEditorのカスタムボタンを配置いただくことで設定できます。手順は以下の通りです。

1. 画面左側の[コンポーネントタブ]内の[ボタン]より、[カスタム]ボタンを画面に配置
2. 画面右側の[コンポーネントタブ]内の[動作選択]が、[画面遷移]が選択されていることを確認
3. [遷移先設定]を選択
4. 以下の画面が表示されるので、[Visualforceページ]を選択の上、作成したPDF画面を選択
5. 最後に、[?id={ID}]ボタンをクリックし、[完了]ボタンをクリック

最後に画面をデプロイし、設定は完了です。

URL エディタ

URL 設定

参照画面へ `https://mydomain.salesforce.com/{ID}`

新規画面へ `https://mydomain.salesforce.com/a02/e`

編集画面へ `https://mydomain.salesforce.com/{ID}/e`

Visualforceページへ `https://mydomain.salesforce.com/apex/` workflow_equipment_pdf

カスタムURL `https://mydomain.salesforce.com`
(絶対パス指定も可)

?id={ID} {ID} クリア

/apex/workflow_equipment_pdf?id={ID}

完了 キャンセル

[参考] 改行文字数の指定

文字数が多くなる項目に対して、改行を指定することができます。
改行は文字数で指定できます。

設定方法は、改行を指定したい項目を選択し、右側の「コンポーネント」タブ内の[レイアウト]-[改行文字数]より、文字数を指定し、デプロイすれば完了です。

5文字で指定

備品購入申請書			
		申請者	承認者
申請番号	TS-00002	申請部署	営業部
申請日	2014/07/12	申請者氏名	佐藤 太郎
件名	展示会出展に伴う備品申請		
使用目的 (購入理由)	展示会に出展時のブースにて利用する。		

5文字で改行される

[参考] PDF画面を作成する際の注意事項

項目	内容
フォント	SkyVisualEditorはVisualforceが用意するPDFの機能を使用して、PDF画面を生成しています。Visualforceの日本語フォントは、現状、[Arial Unicode MS]のみです。
ページサイズ	SkyVisualEditorで設定できるページサイズは、現状、「A4、B4、A3、レター、リーガル」のサイズのみです。その他のサイズが必要な場合は、お問合せください。スタイルクラスを記述いただくことでサイズを個別に指定いただけます。
改ページ処理について	SkyVisualEditorは標準機能では、Salesforceレイアウトは改ページはされませんが、改ページ位置を指定することはできません。自由レイアウトは改ページができません。 これらは、個別にAppComponentなどで機能拡張することで対応可能です。 (http://info.skyvisualeditor.com/developer/develop/)
使用できないパーツ	選択リストのラジオボタン表示、複数選択リストのチェックボックス表示、関連リスト、ボタン、タブ、Chatterコンポーネント。 詳細は、操作マニュアルをご覧ください。
その他	SkyVisualEditorで作成したページは、レイアウトの厳密性を保証していません。Salesforceのバージョンアップによる仕様変更などによりレイアウトが崩れることがありますが、SkyVisualEditorとしては最大限の対応をいたします。

1. PDF画面を作成しよう

2. 遷移元の値を遷移先の画面を反映しよう

3. その他の便利な機能のご紹介

遷移元の値を遷移先の画面へ反映

Salesforceは、URLの形式が決まっており、画面を遷移する際に、パラメータ（変数）を渡すことで、遷移元の値を遷移先の画面の初期値としてセットできます。これにより、二重入力を防ぐことができ、入力効率を向上できます。SkyVisualEditorではパラメータをURL形式で渡す機能を「URLパラメータ」機能として提供しております。

【イメージ】

値の反映

画面遷移

新規見積

取引先詳細

取引先 所在地	山田 志郎 (営業)	評価	None
取引先名	株式会社テラスカイ (目録の表示)	電話	03-5255-3411
代表者		Fax	03-5255-5140
種類	Customer - Direct	Web サイト	http://www.terrasky.co.jp
業種	Apparel	従業員数	100
住所(請求先)	108-0025 東京都中央区 八重洲1-1-1 八重洲セントビル9F	住所(納入先)	
作成者	山田 志郎 2013/11/19 23:30	最終更新者	山田 志郎 2013/11/20 6:02
説明			

見積

見積の編集

見積No. [検索] 高置登録

営業所 [検索] 担当者 [検索]

見積時期 2014/09/19 [検索]

取引先名 株式会社テラスカイ [検索]

取引先コード [検索]

見積ランク [検索]

見積情報 見積内容

決済条件 [検索]

納入期限 [検索]

受渡方法 [検索]

有効期限 [2014/08/10]

備考

URLパラメータとは

URLパラメータとは、クエリ文字列などとも言われ、さまざまな情報をWebサーバに伝えるためにURLの末尾に特定の形式で付け加えた情報です。

具体的には、URLの末尾に「?」マークをつけ、続けて「名前 = 値」の形式で記述します。設定したいパラメータが複数あるときは、「&」で区切ることで設定できます。

【URLパラメータの基本構造】

$$\dots ? \underbrace{[\text{パラメータキー}]}_{\text{初期値をセットしたい項目}} = \underbrace{[\text{パラメータの値}]}_{\text{初期値として設定したい値}} \& \dots$$

例えば、取引先画面からSalesforce標準の商談画面を開く際に、商談画面内の商談名の項目に取引先名を初期値として設定する際は以下のように記述します。

$$\text{https://ap.salesforce.com/006/e?opp3} = \underbrace{\{!Account_Name\}}_{\text{パラメーターキー}} \underbrace{\}_{\text{パラメーターの値}}$$

Salesforceには、標準の[商談]オブジェクトの商談名は「opp3」、フェーズは「opp11」などあらかじめ決められた値があります。項目の値を調べる際には、ChromeなどでSalesforce標準レイアウトに表示されている項目を右クリックし、「要素の検証」よりIdを取得することができます。

▼ 取引先オブジェクトの[取引先名]の場合

```

▼ <div class="requiredInput">
  <div class="requiredBlock"></div>
  <input id="acc2" type="text" tabindex="1"
</div>
</td>
    
```

▼ カスタムオブジェクトのあるカスタム項目の場合

```

▼ <span class="dateInput dateOnlyInput">
  <input id="00N10000004DMtL" type="text"
  onfocus="DatePicker.pickDate(false, '00N
  ▶ <span class="dateFormat"></span>
  </span>
</td>
    
```

初期値を設定したい項目が参照項目（虫眼鏡の項目）か否かにより、パラメーターキーは異なります。

項目種別	パラメーターキー	例
標準項目	あらかじめ決められた値	acc2, opp3, evt5
カスタム項目	15桁/18桁のId値	00N10000004DMtL
標準の参照項目	標準項目 + _lkid	acc2_lkid, opp3_lkid
カスタムの参照項目	CF + カスタム項目 + _lkid	CF00N10000004DMtL_lkid

URLパラメータの設定パターン

それでは、いよいよSkyVisualEditorで、遷移元の画面の値を、遷移先の項目へ反映させる方法をご紹介します。当資料では以下3つのパターンに関する設定方法をご紹介します。

1. 関連リスト内の標準の[新規]ボタンからの遷移
2. Salesforce標準画面のカスタムボタンからの遷移
3. SkyVisualEditor画面のカスタムボタンからの遷移

1. 関連リスト内の標準の[新規]ボタンからの遷移 (イメージ)

▼ Salesforce標準レイアウト

値の反映

新規見積

画面遷移

▲ SkyVisualEditorで作成した画面

1. 関連リスト内の標準の[新規]ボタンからの遷移（設定方法）

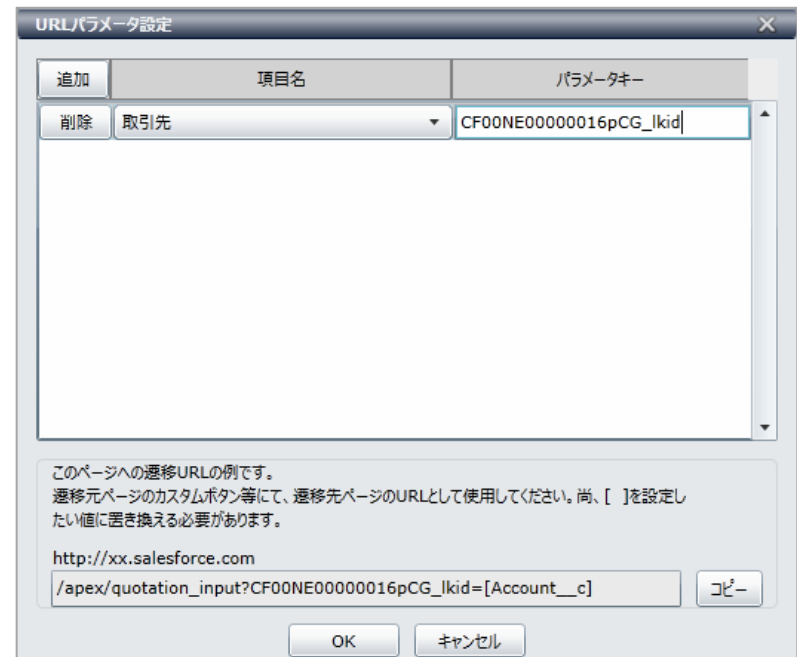
Salesforceの関連リスト内の標準ボタン[新規]をクリックした場合、Salesforce標準では遷移元のレコードのId値が遷移先の画面に反映されます。

（例）[取引先]に紐づく[カスタムオブジェクト]を[新規]で作成した場合、カスタムオブジェクトの画面には、取引先名の項目が初期値としてセットされます。

Salesforceの取引先レイアウトの関連リストより、SkyVisualEditorで作成した画面へ遷移する際に、取引先の項目を初期値としてセットする手順は以下の通りです。

1. カスタムオブジェクトの[取引先名]のパラメーターキーを事前に取得しておく
2. SkyVisualEditorスタジオのメニューバーの[開く]より、作成した遷移先の画面を開く
3. スタジオ右側の[ページ]タブ内の[URLパラメータ設定]の[設定]ボタンを選択
4. [設定]ボタンをクリックすると右の画面キャプチャが表示されるので、[追加]ボタンをクリックし、[項目名]から「取引先名」を選択し、1で取得したパラメーターキーを[パラメーターキー]に貼り付ける

（次ページへ続く）



1. 関連リスト内の標準の[新規]ボタンからの遷移（設定方法）

5. Salesforceの設定画面で、遷移先（今回はカスタムオブジェクトと）の[ボタン、リンク、およびアクション]より、標準の[新規]ボタンの[編集]をクリック（左下の画面キャプチャ）
6. [上書き手段]を「Visualforce」ページに選択し、SkyVisualEditorで作成した入力画面を選択
7. [保存]ボタンをクリックし、設定は完了です。

ボタン、リンク、およびアクション 新規アクション 新規ボタンまたはリンク ボタン、リンク、およびアクションのヘルプ

アクション	表示ラベル	名前	説明	種別	内容のソース	アイコン	上書き
編集 削除	PDFプレビュー	PDF		詳細ページボタン	Visualforce ページ		<input type="checkbox"/>
編集	コピー	Clone			標準 Salesforce.com ページ		<input type="checkbox"/>
編集	リスト	List			標準 Salesforce.com ページ		<input type="checkbox"/>
編集	引き受ける	Accept			標準 Salesforce.com ページ		<input type="checkbox"/>
編集	見積タブ	Tab			標準 Salesforce.com ページ		<input type="checkbox"/>
編集	削除	Delete			標準 Salesforce.com ページ		<input type="checkbox"/>
編集	参照	View			標準 Salesforce.com ページ		<input type="checkbox"/>
編集	新規	New			estimate (Visualforce ページ)		<input checked="" type="checkbox"/>
編集 削除	新規(カスタム)	Estimate_new		リストボタン	URL		<input type="checkbox"/>
編集	編集	Edit			estimate (Visualforce ページ)		<input checked="" type="checkbox"/>

上書きする標準ボタンまたは標準リンク このページのヘルプ

New

標準ボタンまたは標準リンクを上書きすると、Salesforce URLの意味と、Salesforce ページ、ブラウザショートカット、外部システムなど、対象となる URL へのコールの意味が変わります。標準ボタンまたは標準リンクが参照する Salesforce URL は、カスタムコントロールまたは Visualforce ページに置き換えることができます。

この標準ボタンまたは標準リンクが参照する Salesforce URL の代わりに使用するカスタムコントロールまたは Visualforce ページを選択します。

プロパティの上書き 保存 キャンセル

表示ラベル **新規**

名前 **New**

デフォルト **標準 Salesforce.com ページ**

上書き手段 **上書きしない (デフォルトを使用)**

Visualforce ページ **estimate [estimate]**

- なし---
- estimate [estimate]
- estimate.pdf [estimate.pdf]
- estimate.view [estimate.view]

コメント

2. Salesforce標準画面のカスタムボタンからの遷移（イメージ）

▼ Salesforce標準レイアウト

見積作成

画面遷移

値の反映

▲ SkyVisualEditorで作成した画面

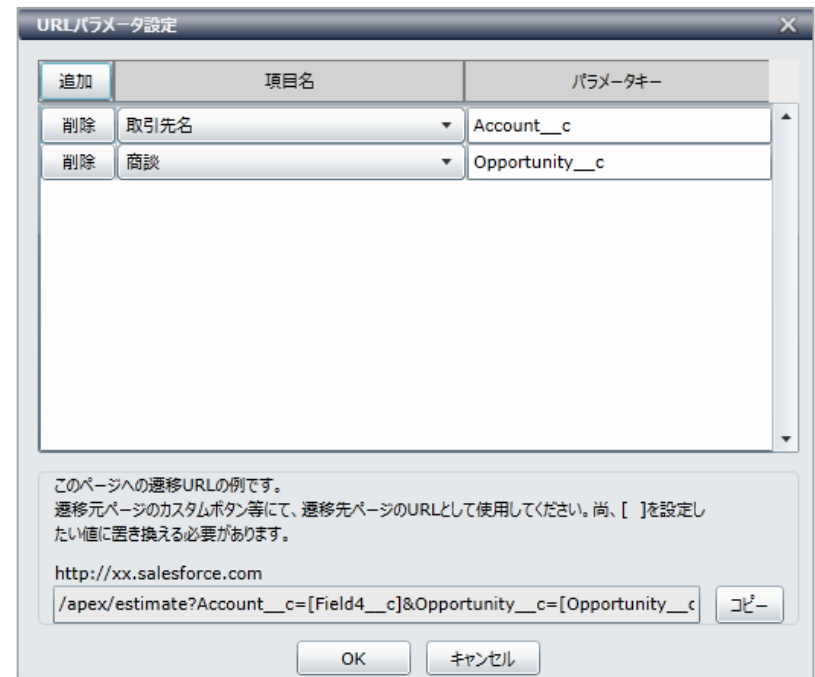
2. Salesforce標準画面のカスタムボタンからの遷移（設定方法）

Salesforceの関連リスト内の標準の[新規]ボタンは遷移先の画面へ、親オブジェクトの参照項目しか反映できません。

カスタムボタンの場合、親オブジェクトの参照項目以外の項目も遷移先の画面へ渡すことができます。以下では、Salesforce標準の商談画面からカスタムボタンよりSkyVisualEditorで作成した見積画面を開く際に、[取引先]と[商談]の値を初期値としてセットする手順をご紹介します。

1. SkyVisualEditorスタジオのメニューバーの[開く]より、作成した遷移先の画面を開く
2. スタジオ右側の[ページ]タブ内の[URLパラメータ設定]の[設定]ボタンを選択
3. [設定]ボタンをクリックすると右の画面キャプチャが表示されるので、[追加]ボタンをクリックし、[項目名]から「取引先名」、「商談」を選択
今回はパラメーターキーは、任意の値で可
4. 画面下部の[コピー]ボタンをクリック

(次ページへ続く)



2. Salesforce標準画面のカスタムボタンからの遷移（設定方法）

5. Salesforceの設定画面で、遷移元（今回は商談）の[ボタン、リンク、およびアクション]を選択
6. [内容のソース]を「URL」とし、構文エリアに、p.25の4.でコピーした構文を貼り付け
7. パラメーターの値（[]で囲まれた値）を選択し、[項目の挿入]より、取引先名のパラメーターキーに「取引先 ID」を、商談名のパラメーターキーに「商談 ID」を挿入。
8. その他のカスタムボタンのプロパティを設定し[保存]。作成したカスタムボタンをSalesforce標準のレイアウトに配置。以上で設定は完了です。

商談のカスタムボタンまたはカスタムリンクの編集
見積作成

カスタムボタンまたはカスタムリンクの編集

表示ラベル	主キャンペーンソース	
名前	取引先 ID	
説明	取引先名	
	種別	
	所有者 ID	
	所有者 メール	
	所有者 氏名	
	所有者 姓	
表示の種類	所有者 電話	表示
	所有者 名	表示
	所有者 役職	
	商談 ID	
	商談名	
動作	商品フラグ	差し込み項目の挿入
	詳細リンク	動作オプションの表示
内容のソース	数量	
	成立フラグ	
	説明	
	売上予測分類	
	非公開	

差し込み項目の種類: 商談

演算子の挿入

`/apex/estimate?Account__c={!Opportunity.AccountId}&Opportunity__c=[Opportunity_c]`

今回の場合、構文は以下となります。

```
/apex/estimate?Account__c={!Opportunity.AccountId}&Opportunity__c={!Opportunity.I
d}
```

3. SkyVisualEditor画面のカスタムボタンからの遷移

SkyVisualEditorで作成した画面に配置したカスタムボタンより、遷移元の値を遷移先の画面へ初期値として反映できます。方法は、前半はp.25で紹介した、1～4の手順と同様です。p.26の手順5以降の設定が異なりますので、以下にその設定を記述します。

1. SkyVisualEditorスタジオのメニューバーの[開く]より、遷移元のSkyVisualEditor画面を表示
2. スタジオ左側の[コンポーネント]タブの[ボタン]よりカスタムボタンを配置
3. カスタムボタンをクリックし、スタジオ右側の[動作選択]を「画面遷移」とし、[遷移先設定]を選択
4. 表示されるダイアログより、「カスタムURL」を選択し、p.25の4.でコピーした構文を貼り付け
5. パラメーターの値（[]で囲まれた値）を以下のルールで変更
 - 値を渡したい項目が親レコードの参照項目の場合、`{!record.Id}`
 - 値を渡したい項目が親レコード以外の参照項目の場合、`{!record.[API参照名].Id}`
 - それ以外の項目のName項目の場合、`{!record.[API参照名]}`
6. 構文の記述ができれば、[完了]をクリックし、作成した画面をデプロイし、設定は完了です。

p.25、26でご紹介した画面遷移と同様の設定をSkyVisualEditorの画面より実施する場合の構文は、
`/apex/estimate?Account__c={!record.AccountId}&Opportunity__c={!record.Id}`

です。

なお、API参照名は、SkyVisualEditorスタジオで項目を選択した際に、画面右側の[コンポーネント]タブの[共通]-[項目API参照名]よりご確認ください。

[参考] 関連リストにカスタムボタンを配置する方法

Salesforceの関連リストにはカスタムボタンを配置できます。関連リストの標準の[新規]をカスタムボタンに変更することで、複数の値を遷移先の画面に反映できます。

関連リストにカスタムボタンを配置する際は、遷移先のオブジェクトの[ボタン、リンク、およびアクション]にカスタムボタンを作成します。

このとき、カスタムボタンの[表示の種類]を「リストボタン」とします。それ以外はp.25、26の設定と同じです。最後に、遷移元の[商談]オブジェクトの[レイアウトを編集する]より、関連リストの[編集]をすると以下のキャプチャがダイアログ表示されますので、[ボタン]作成したカスタムボタンを配置すれば完了です。



(参考 : https://help.salesforce.com/HTViewHelpDoc?id=customizing_related_lists.htm&language=ja)

1. PDF画面を作成しよう

2. 遷移元の値を遷移先の画面を反映しよう

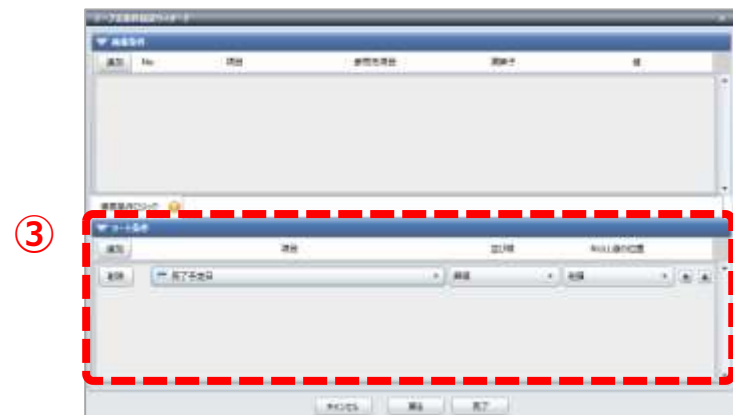
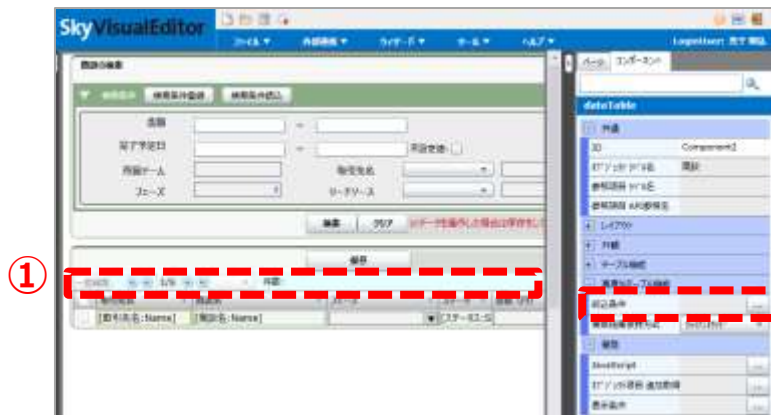
3. その他の便利な機能のご紹介

3-1. 明細一覧（データテーブル）のソート条件の指定

SkyVisualEditorで作成した検索画面の検索結果の一覧テーブルに対して、デフォルトのソート条件を指定することができます。設定方法は以下の通りです。

1. SkyVisualEditorスタジオより、検索画面を作成、もしくは開きます
2. 下記画面キャプチャの①検索条件部分のpageBlock部分をクリックします
→選択すると[コンポーネント]タブに「pageBlock」のプロパティが表示されます
3. [コンポーネント]タブの[高度なテーブル機能]より、下記画面キャプチャの②[絞込条件]を選択
4. 表示条件指定モード選択で、「表示条件指定（設定）」を選択し、[次へ]をクリック
5. 下記画面キャプチャの③の[ソート条件]-[追加]より、デフォルトで並び替えをしたい項目を選択

以上で、設定は完了です。



検索画面の作成方法については、以下の資料をご覧ください。

(<http://www.terrasky.co.jp/document/download/skyvisualeditor-2-1.php>)

3-2. 検索画面の明細テーブルのName項目にリンクを設定

SkyVisualEditorでは、検索画面の明細テーブル（データテーブル）のName項目にリンクを設定できます。設定手順は、以下の通りです。

1. SkyVisualEditorスタジオより、検索画面を作成、もしくは開きます
 2. SkyVisualEditorスタジオで、リンクを設定したいName項目（※）をクリック
 3. [コンポーネント]タブの[テキスト]-[リンクとして表示]のチェックボックスをONに
 4. 新規ウィンドウでページを開く場合は、[リンクを別ウィンドウで開く]のチェックボックスをONに
- 以上で設定は完了です。



画面遷移



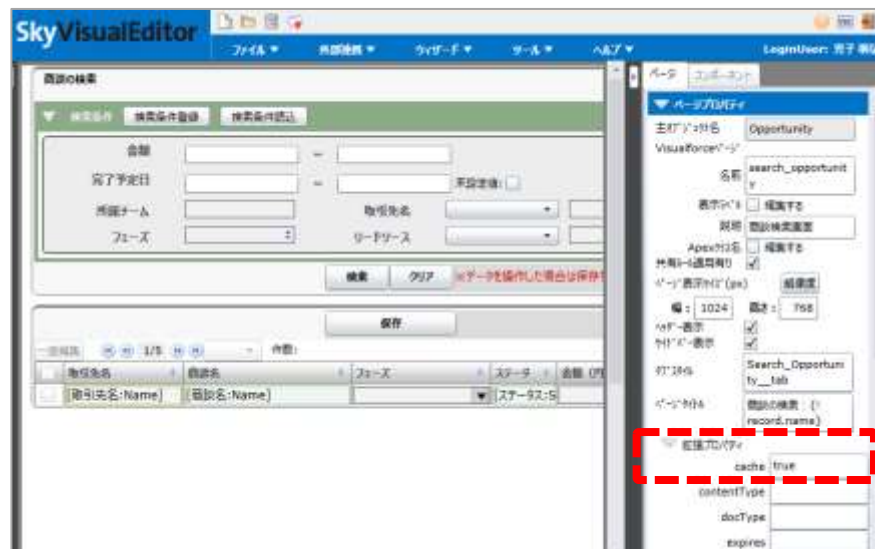
※ リンクを設定できる項目は、Name項目の表示（参照）項目のみです。

3-3. 検索画面から詳細画面へ遷移後、検索画面へ戻る際の設定

P.30の3-2.で、新規ウィンドウでページを開くのではなく、現在のウィンドウで詳細画面に遷移をする際に、ブラウザの[戻る]ボタンを押すことで、再度検索画面へ戻ることができます。設定方法は、以下の通りです。

1. SkyVisualEditorスタジオより、検索画面を作成、もしくは開きます
2. スタジオ右側の[ページ]タブの[▼拡張プロパティ]をクリックします
3. 表示された拡張プロパティのうち、「cache」の入力欄に"true"と入力します。

以上で、設定は完了です。



3-4. 検索画面で[検索]を押した際、検索条件を折りたたむ方法

SkyVisualEditorで作成した検索画面は、検索条件部分と検索結果部分に分かれています。
 [検索]ボタンを押した際に検索条件部分を折りたたむことができます。
 検索結果一覧部分をなるべく画面上に多く表示させたい場合に便利です。
 次のページで設定方法をご紹介します。

通常



カスタマイズ後



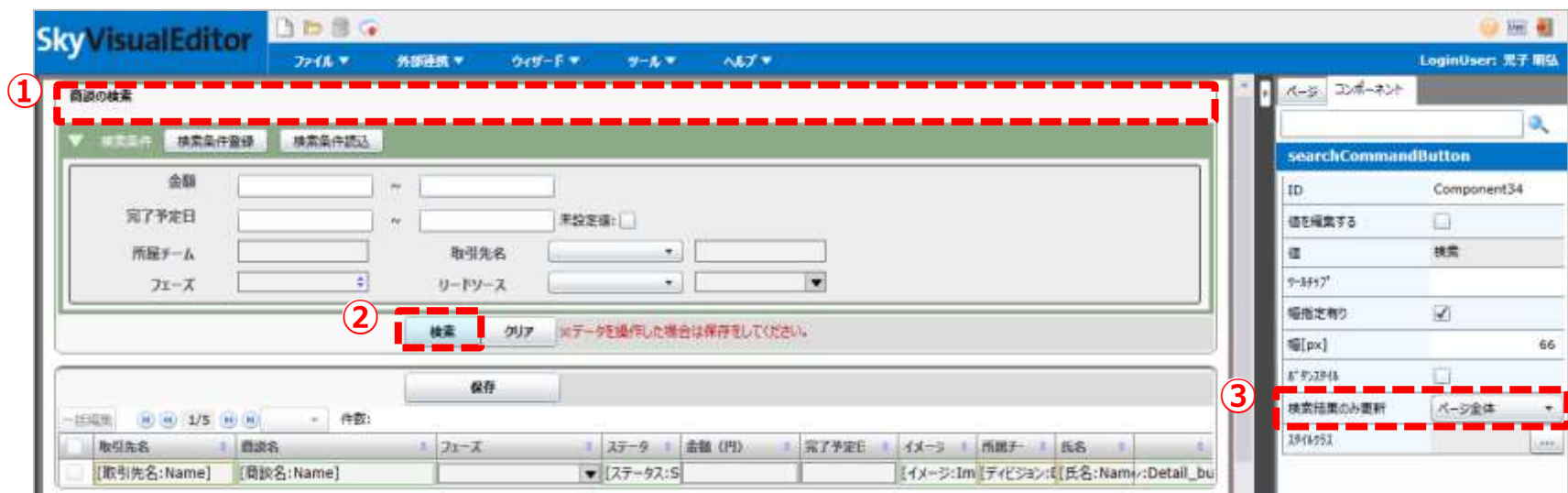
検索条件部分が
折りたたまれます。



※ 当機能はJavaScriptを記述します。JavaScriptは当社製品のサポート対象外となりますので、ご了承ください。

3-4. 検索画面で[検索]を押した際、検索条件を折りたたむ方法

1. SkyVisualEditorスタジオより、検索画面を開きます。
2. まず、下記キャプチャ①の検索条件部分のpageBlock部分をクリックし、画面右側の[コンポーネント]タブの[外観]-[表示モード]より、「detail」もしくは「maindetail」を選択します。
3. 次に②の[検索]ボタンをクリックし、画面右側の [コンポーネント] タブの [検索結果のみ更新] より、「ページ全体」を選択します。(③)



3-4. 検索画面で[検索]を押した際、検索条件を折りたたむ方法

- 最後に、画面右側の [ページ] タブ内の [ページスクリプト] より、「ページスクリプト編集」ボタンをクリックし、表示される構文エリアに、以下サンプルを張り付け、ComponentのIDを書き換え、画面をデプロイし、設定は完了です。

```
jQuery(function() {  
  //検索時に検索結果のレコードがある場合  
  if(!Component2.items.size > 0) {  
    //検索条件部分を非表示にする  
    jQuery("[id$=':Component36'] .hideListButton").trigger("click");  
  }  
});
```

※ 「Component2」の検索結果のデータテーブルのIDを、「Component36」は検索条件のIDに書き換えてご利用ください。

【備考】

P.34の手順3で [検索結果のみ更新]を「ページ全体」としましたが、「データテーブル」を選択した場合は、検索結果のデータテーブルを選択し、画面右側の[コンポーネント]タブ内の[開発]-[JavaScript]より、上記の手順4をおこなうことで設定できます。

3-5. 参照画面作成機能

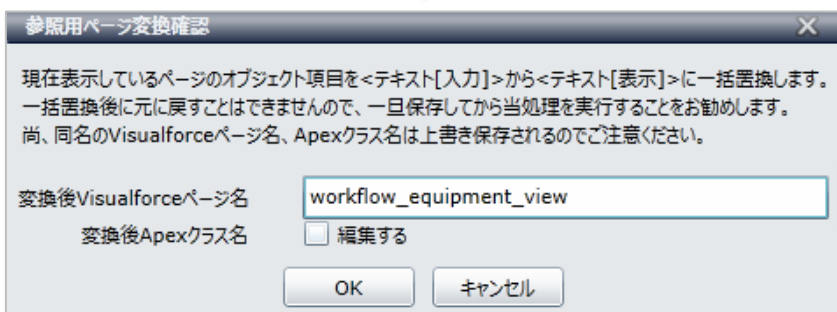
SkyVisualEditorでは、作成した入力画面を2ステップの手順で、一括で参照（表示用）画面に変換することができます。

設定方法は、メニューエリアの[ツール]より[参照画面作成]をクリックし、ページ名を設定後、[OK]をクリックすると、参照画面が表示されます。

①



②



③



※ 配置した項目の幅や位置などは別途、調整が必要な場合があります。

お役立ち情報

- ・セミナー/イベント情報
- ・サポート窓口

SkyVisualEditorの事例や製品について知る

- **9月10日（水） 「SkyVisualEditor定例セミナー」**
<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/0910-001.php>

SkyVisualEditorを体験する、学習する

- **SkyVisualEditor体験セミナー**
実際にSkyVisualEditorを操作しながら、画面開発を体験できるセミナーです。
9月12日（金） <http://www.terrasky.co.jp/event/2014/0912-001.php>
- **SkyVisualEditor標準トレーニング**
SkyVisualEditorの基本的な機能を網羅したプライベート研修です。
こちらを受講いただければ、SkyVisualEditorの基礎を十分にご理解いただけます。

SkyVisualEditorの機能/設定に関するお問合せ

SkyVisualEditorのご契約者様は、以下の専用問合せページよりお問合せいただけます。
SkyVisualEditorの標準の機能/設定に関するお問合せは無償です。
また、別途、有償サポートのプランも用意しております。詳しくは以下問合せE-Mailよりお問合せください。

契約者様専用問合せページ：<https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>

SkyVisualEditorのご導入に関するお問合せ

SkyVisualEditorに関するお問合せは以下お問合せフォームおよびメールアドレス、お電話番号にて受け付けています。お気軽にお問合せください。

問合せフォーム：<https://www.terrasky.co.jp/contact/support/index.php>

問合せE-Mail：product.sales@terrasky.co.jp

問合せTEL：**03-5255-3411**

第5回 基本編 「Salesforceで見積作成画面を作成しよう」

9月16日（火） 15:30-16:00にて開催。

(<http://www.terrasky.co.jp/event/2014/0916-001.php>)

第5回は、SkyVisualEditorをご検討するお客様の中でもご要望の高いアプリケーションの1つ「見積」画面について、SkyVisualEditorで『入力しやすい』画面を作成する手順やノウハウをご紹介します。

第6回 基本編 「使いやすいルックアップ検索画面を作成しよう」

10月開催予定。

第6回は、Salesforceのルックアップ検索画面を、SkyVisualEditorでより使いやすくすることができます。第5回で作成した見積作成の画面から商品を検索し、複数の商品を一括で登録する手順をご紹介します。